

神戸市交通空白地有償運送運営協議会

【開催日時】2023年8月7日

【開催場所】北神区役所淡河出張所

【出席者】委員14名

【議事概要（主な意見交換の内容）】

●委員

今ストップしているサービスが2つあるとお伺いしました。そのうちのミニデイサービスの再開は当面難しいでしょうか。もう1つのお食事会便は、地元でコロナが大丈夫だと判断されれば復活すると思いますが、今後の見通しはいかがでしょうか。

●申請者

好徳小学校と淡河小学校の学区ごとに福祉センターがあり、ここで高齢者を対象に、一緒にお食事や折り紙などをするミニデイサービスがあり、好徳側は再開しました。淡河側は、ミニデイサービスを担う婦人会ベースのグループが一旦解散したということもあり、現時点で再開の見通しが立っていない状況です。お食事会便につきましても、独居老人の皆さんが集まってお食事をすることは非常に重要と思いますが、まだやはり集まって食事をすることに対する抵抗があるということで、現時点では再開の見通しが立っていない状況です。

●委員

先ほど電話受付をしていると聞きましたが、乗務しているときと、受付で待機しているときの労働者に対する賃金は、最低賃金以上で支払われているのでしょうか。

●申請者

ドライバー及び事務所で待機するスタッフとは雇用契約を交わしていませんが、地域の支えとして必要な業務ということで依頼し、それを本人から承諾いただき、それに対する対価を基本的には1時間で1,000円としています。

●委員

利用実績で、令和元年度の利用者数が8,251人と非常に多く、この年の幼稚園保育園便の1運行あたりの利用者数が24.3人と、他年度と比べて突出していますが、この年に何かあったのでしょうか。

●申請者

淡河町の幼稚園のお迎えは一般的に2時半から4時半となっており、その時間に幼稚園に迎えに来ていただけるお母さんが最近多くなっています。令和元年度は、お母さんもお父さんもフルタイムで働いている方がたまたま多かったと記憶しています。最近は短時間勤務が会社で認められやすくなったと、何人かのお母さんから聞きました。そういった会社の制度を利用してお迎えに来ているので、淡河町ゾーンバスでのお迎えが少なくなっているということになります。

●事務局

事務局から少し補足です。先ほどご指摘いただいた1便当たりの利用者数の表を

見ていただくと帰宅支援便も6.3人で、他の年度より高くなっています。これは、令和元年度に社会実験という形で神姫バスの吉川－三宮線を遅い時間帯に1便多く走らせ、それを使って淡河町に帰ってくる利用者が淡河町ゾーンバスの帰宅支援便を利用したことが、令和元年度に利用人数が伸びた理由ではないかと分析しております。

●委員

本陣で車体表記の現物を見せていただいたときに違和感がありました。福祉有償運送の場合には、単に「有償運送車両」としか書きませんが、「交通空白地」というのは頭に要るのでしょうか。

●委員

無くても大丈夫です。

●委員

もう一つ問題と思ったのが登録番号です。車両の写真の登録番号の3文字目が、「公共の公」の文字になっています。登録番号は「交通の交」です。ですから、車体に表記している登録番号が違っているということになります。これについては、正しい番号に直していただく必要があります。そのときに「交通空白地」を外しても構わないですが、登録番号の違いは直さないといけないと思います。それから、車両の写真は左側面だけですが、両側面につけていますか。

●申請者

両側面につけています。ご指摘いただいた車体表記のマグネットは早急に修正します。補足ですが、車両の後ろの「淡河町ゾーンバス」という緑色のマグネットは、帰宅支援便でバス停に停車する際に、神姫バスの運転手さんが淡河町ゾーンバスであることを認識できるようにつけています。

●委員

先ほど現場を見たときに、アルコールチェックの機械を見せてもらいましたが、運行管理マニュアルにはアルコールチェックに関しての記載がありません。福祉有償運送の場合は、運行管理マニュアルに明記されています。アルコールへの対策という意味で、朝と運行が終わってからの2回の点検について運行管理マニュアルに明記すべきと思います。

それと運転者の年齢について、現在60代が1人いますが、運行管理マニュアルに年齢に関しての記載がありません。70歳以上の運転者に適性診断を受けさせて指導するという事は書いていますが、いつまで雇うのかということも含めて明記してほしいと思います。

●事務局

参考資料5に運行管理マニュアルがありまして、その4ページ目の「5. 運行の実施」に、今回赤字でアルコール検知器を使って確認するという事を明記したところ です。

●申請者

淡河町ゾーンバスは、安心、安全が一番重要と我々スタッフも感じており、理事長からも常に安心、安全を一番最優先にしてほしいと言われていまして、今回ア

アルコールチェックについてもマニュアルに明記しました。

2点目の定年制ですが、70歳でも80歳でも地域のためにやるという生きがいは大切ですが、これまでの現状では、自主的に70歳を一区切りという暗黙のルールはありました。決め事ではありませんでしたので、今回これを機にどこかで線引きしていきたいと思います。

●委員

アルコールの件については福祉有償運送でもよくありますが、みんなよく知っている人だと大丈夫だろうとなってしまう可能性もあります。何かあったときには大きな問題になりますので、始めと終わりだけではなくて昼休みも含めて、しっかりチェックして記録しておくことをお願いしたいと思います。

●委員

淡河町ゾーンバスの運行実態を今日見させていただいて、初めて内容的には理解しました。ただ実際どういう運行をしているのかという町内の皆さんに公表している内容を出してもらわないと、本当の利便性とか利用実態は見えないと思うので、それなりの資料をこのような会議には出していただきたいと思います。

●申請者

利用者は淡河町内の住民という制限がありますので、淡河町自治協議会が町内で発行している新聞を使って、みんなで乗って支えようと、淡河町ゾーンバスの写真や利用者の声、予約の連絡先を広報しています。あと、年に数回はイベントでチラシを置いて、淡河町ゾーンバスを知ってもらう取り組みをしています。

●委員

そういうことではなくて、便数、どの便が走るか、時間帯などを、協議会の意見・検討資料として出すべきと思います。

●申請者

ダイヤについては、お問合せいただいた際に、例えば診療所便でしたら、仮にお住まいが行原という地区でしたら何時ですという口頭のご案内になっています。ダイヤ表を見て、この時間帯にあそこの公民館を通っているな、ということを知るのも必要になるかと思いますので、検討したいと思います。

●委員

運送しようとする旅客の範囲で、淡河町住民及びその親族等、あと、その他公共的施設の利用者ということで、町内に詳しくない方もいらっしゃるのかなと思います。今日現地を見させていただいたところ、バス停に「淡河町ゾーンバス」の表記があるだけで、バス停名がありませんでした。皆さん地元の方なので分かっているかもしれませんが、普通の路線バスであればバス停名を表記しているので、そこまでやっていただくのが望ましいと思います。

もう一点、これは今回の申請とは別ですが、先ほどの事務所の視察で、エアコンが無く、公会堂は有料になるかもしれないという話がありました。本陣はドライバーや運行管理者が休憩や待機をするには環境的に少し厳しいと感じましたので、何か神戸市による支援をご検討いただけたらと思います。

●申請者

我々ドライバーの中でも、バス停表記はあったほうが良いという意見があります。次に作り変えるときに、予算があれば対応したいと思いますし、予算的に厳しいという場合は、白いテープを貼ってその上から書くというような何らかの対応で、バス停名が分かるようにしていきたいと思います。

あと事務所の本陣の方は、視察で暑いというのはお分かりいただきました。夏は本当に厳しい環境だと思いますので、淡河町内の各種団体とも相談して、エアコンであるとか、冬場でしたら逆に暖が取れるところでスタッフが待機できて、特にドライバーが万全の体調で運行できるよう、健康管理により注意していきたいと思います。

●委員

先ほどの登録番号の誤りは、速やかに直していただく必要があると思います。その他特にご意見、申請内容を修正するものは無かったと思いますので、当運営協議会といたしましては、この申請内容を踏まえ、今回申出のありました一般社団法人淡河町地域振興推進協議会が淡河町ゾーンバスの更新登録を申請するに当たり、協議が調ったということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

●委員

それでは協議が調ったとさせていただきます。これで予定されていた議事は全て終わりましたが、こうした機会には更新時にしかないので、お集まりいただいた委員の皆様からこの淡河町ゾーンバスについて何かアドバイスやご意見等あれば頂戴したいと思います。

●委員

今日は貴重な視察の機会をいただきありがとうございます。車窓からユリの花を栽培している風景を拝見させていただいて、増田理事長の名刺にもユリの花が描いてありましたが、淡河町はユリの花を栽培して活性化しているとよく分かりました。

淡河町ゾーンバスについては、診療所便と帰宅支援便という主に2つの重要な役割を担っていることを再認識しました。1つ目は、地域課題としての町内移動、診療所に行く方の移動手段を確保すること、それからもう1つが町内だけではなく、神戸の市街地から移動する方の重要な移動手段を担っていることを十分把握できました。

前回の会議では、御坂の停留所で三宮から社行きの神姫バスの路線バスから乗り継いで淡河町内に帰る役割を審議し、実施となりましたが、この度の資料データから淡河町ゾーンバスと神姫バスが上手く連携して頑張っているということも再認識できました。

この三宮線については赤字で維持しており、淡河町ゾーンバス含めて路線バスも市民の移動手段として重要な役割を担っていると考えておりますので、引き続きご支援をお願いしたいと思います。

●委員

今日は貴重なバスの視察で、実態がよく把握できて良かったです。少し話がそれますが、「2024年問題」について物流ばかり取り上げられている状況です。しかしこれは、交通運輸産業、バス、タクシー、鉄道もそうですが、特にバス、タクシーが非常に厳しい状況です。こういった状況の中で、淡河町の方が一生懸命取り組まれている姿に非常に感銘を受けています。バス、交通運輸産業を支えていくためには、各市町、各自治体の力も必要になると思います。この先、大きく見ると、国民の足の確保については、各自治体、地域住民はもちろんですが、みんなで一緒に守っていくという姿勢を示していくべきだと思います。

少し話がそれましたが、今日の運営協議会は移動会議のような楽しさもあり、実態も把握できました。運営する側の皆さんの御尽力のおかげだと思います。

●委員

今日路線を見させていただき、想像はしていましたが、かなり広いエリアを走っているという実感がありました。運賃300円で恐らく7~8キロ走っていると思います。収支を考えなければいいですが、先ほどおっしゃられたように、バス、タクシーが非常に厳しい中で、タクシーもこのたび運賃改定させていただきました。その大半は労働環境の改善です。最低賃金が1,000円になろうとしている中で、この運賃では非常に厳しいと思います。乗られる方にとってはもちろん安いに越したことはないですが、将来的にこの300円というのはどうなのか、距離が長い部分については後100円プラスしたらどうなのかとか、そういった議論も将来的にはしていったほうが良いのではと思いました。

以上